

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月3日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【公表資料「2月13日の地震によるタンクの滑動(ずれ)等発生状況と対応」のDエリア連結管変位量調査結果の記載誤りについて】</p> <p>当社社員が原子力保安検査官からの指摘で、2021年2月25日に当社が公表した「2月13日の地震によるタンクの滑動(ずれ)等発生状況と対応」のDエリア連結管変位量調査結果の変位量超過箇所が正しくは8箇所のところ、5箇所と記載していたことを確認。</p> <p>原因は、連結管の伸び方向と縮み方向の両方の変位量を測定していたが、公表資料に伸び方向の変位量超過箇所数のみ記載してしまったもの。</p> <p>公表資料は、3月1日に修正済み。</p> <p>今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	2月25日
2	<p>【サブドレン浄化設備A系供給ポンプ(A)入口弁のシート漏えい※について】</p> <p>当直員が、サブドレン浄化設備B系を運転した際、作業のため隔離中の供給タンク(A)の水位上昇を確認。</p> <p>調査の結果、供給タンク(A)出口弁(A)を全閉にしたところ、供給タンク(A)の水位上昇および供給タンク(B)の水位低下が停止したことから、供給ポンプ(A)入口弁のシート漏えいと判明。</p> <p>今後、点検修理予定。</p> <p>※ シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	G III	2月26日